

令和4年度 大野市富田小学校 スクールプラン

大野市教育理念 「明倫の心を重んじ 育てよう 大野人」
 ～優しく かしく たくましく 結の心で～
 学校教育目標 「ともに学び あすをきりひらく子の育成」



全ての教育活動にSDGsを

【めざす学校像】

～魅力ある学校に～

- ①人間尊重・人権尊重の精神に満ちた学校
- ②教職員が協働し充実感と誇りの持てる学校
- ③家庭や地域から応援される学校

【めざす教師像】

- ①授業力と学校経営力の向上をめざし研修する教師
- ②児童と共に成長する教師
- ③職員の協働体制の大切さを実感できる教師
- ④保護者・地域から信頼される教師





【めざす児童像】

- ①明るく思いやりのある子
- ②めあてを持ち生き生きと学ぶ子
- ③たくましく、すこやかな子

【合言葉】

- と もだち だいすき 富田っ子
- み んなに あいさつ 富田っ子
- た いじな命だ 富田っ子

重点目標

明るく思いやりのある子を育てる 	めあてを持ち生き生きと学ぶ子を育てる 	たくましくすこやかな子を育てる 	地域とつながる 
<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感・自己有用感を高め、自分や相手を大切に、感謝する心を育てる。 ○温かく思いやりのある学級・学校をつくる。 ○様々な場面でより良い判断ができる力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学び合いを通して学ぶ楽しさを実感できる子を育てる。 ○対話によって考えを深める授業づくりに挑戦する。 ○主体的・効果的な職員研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康や安全について自分で考え行動できる子を育てる。 ○運動する場や、めあて・振り返りの仕方を工夫し、体力の向上を図る。 ○夢や目標に向かってがんばる心や体を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭や地域から信頼され、応援される学校を目指す。 ○家庭や地域・関係機関との連携をすすめる。 ○保小中の連携を深め、よりよい接続につなげる。

【研究主題】 互いに認め合い、学び合う児童の育成 ～聴く・読む指導の工夫を通して～

具体的な取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ○すべての教育活動を通して、自己肯定感や自己有用感、感謝する心を育てる。(すきすきメッセージの工夫) *居場所づくり ○きめ細かな児童観察やQ-Uを活用した学級づくりを通していじめや不登校の早期発見と未然防止に努める。(心のアンケート、意識調査) ○より良い生活や学級について話し合う場づくりを工夫する。*絆づくり ○児童の学びをイメージした縦割り班活動を工夫する。 ○相手を意識したあいさつや返事、言葉づかいができるよう働きかける。 <p>(学校が楽しい 90%) (自分が好き 80%) (みんなで何かをするのが楽しい 80%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「聴く」指導を通して主体的な学びにつなげる。 ○児童の考えを引き出す、ゆさぶる課題設定、発問を工夫した授業づくりを行う。 ○教師のファシリテート力を高め、児童の声が繋がる授業づくりに挑戦する。 ○活動の見通しが持てる工夫をすることで、主体的な児童の育成につなげる。 ○異学年で意見を伝え合う機会を設ける。 ○NIE・読書活動を推進し、「読む」力を育てる。 ○教育的効果を考えたタブレットの活用を工夫する。 <p>(主体的に取り組んでいる 80%) (授業がよく分かる 80%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分の命は自分で守る」姿勢と態度を育てる。 ○基本的な生活習慣の定着に向けて働きかける。 ○自分との関わりを意識できるような避難訓練を実施する。 ○なわとびやマラソン、体育の授業などで、めあてや振り返りの仕方を工夫し、体力の向上を図る。 ○外での遊びを奨励する。 ○夢に向かってがんばることのよさに気づくことができるよう働きかける。 <p>(5日以上の欠席児童20%以下) (夢や目標に向かって頑張ろうとしている 80%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域・関係機関と連携し、いじめの早期発見・早期対応に努める。(いじめアンケートの実施と分析・対応) ○地域の自然や歴史・文化、人材を学習に生かした体験的な活動を推進する。 ○各種便り(学校だより、学年だより等)を通して家庭、地域との共通理解を図る。 ○家庭での読書を勧める。 ○ネット利用に関する情報を家庭と共有し、共に情報モラルの向上を図る。 ○校区内の保小中と目的を共有し、高め合える交流をする。 <p>(富田が好き 90%) (読書が好き 80%) (家庭との連携を図ろうとしている 90%)</p>
---	--	---	--

【業務改善の取組】

- 出退勤時刻の計画的な管理
- 対話型行事反省・つぶやきメモ付き引継書の作成と随時更新
- 連絡シート・声のかけ合い・終礼による連絡の徹底
- 高速PDCA
- 一人一人の意識改革